

美郷がいちばん、好きです美郷

第31号
2012.4.13

ふたたび 議会だより



心ひとつに明日を拓こう

美郷中学校 初めての入学式

2 子どもに誇れる美郷を

8 定住に100万円を助成

定例会概要	2
予算概要	4
常任委員会審査	10
補正予算	14
一般質問	18
追跡レポート	20
キラリ美郷人	24



『交流促進プロジェクト』
清水まつり



『農商工連携プロジェクト』
OTAフェスタ



『安全・安心プロジェクト』
消防訓練



『水環境保全プロジェクト』
水環境学習交流会



『子ども育成プロジェクト』
すこやか園夏まつり

子どもに誇れる美郷を

3月定例会を、3月5日から15日までの11日間の会期で開きました。審議した議案は、平成24年度一般会計予算など39議案。そのすべてを原案のとおり可決しました。また、一般質問は1議員が登壇して町政をただし、請願・陳情は3件を採択し4件を不採択としました。

美郷町が誕生して8年目を迎える平成24年度は、まちづくりの指針となる美郷町総合計画『後期基本計画』の中間年にあたります。平成22年度から取り組んできたこの計画では、将来の美郷町のために特に力を入れる施策を『まちづくり戦略プロジェクト』と位置づけ、総合的な施策展開に努めてきました。そのプロジェクトとは、

希望と活力あふれる
まちをつくる

『農商工連携プロジェクト』

未来を担う子どもたちを
はぐくむ

『子ども育成プロジェクト』

かけがえない水環境を
未来へつなぐ

『水環境保全プロジェクト』

人々がふれあい活気あるまちを
つくる

『交流促進プロジェクト』

安全で安心して暮らせるまちを
つくる

『安全・安心プロジェクト』

の5分野に分かれ、平成24年度も各課が連携して実施します。(6〜7P参照)

今定例会では、この5プロジェクト事業が含まれた一般会計112億9472万9千円、5特別会計合計36億6874万3千円、総額では149億6347万2千円となる平成24年度当初予算を、3月9日全体質疑し所管の委員会に付託して審査しました。

議会最終日、3常任委員長の委員会報告のあと採決した結果、平成24年度一般会計予算を賛成多数(賛成14人・反対2人)で、5つの特別会計のうち国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計予算は賛成多数(賛成14人・反対2人)で、その他の特別会計は全員賛成で原案の通り可決しました。

総合的な施策

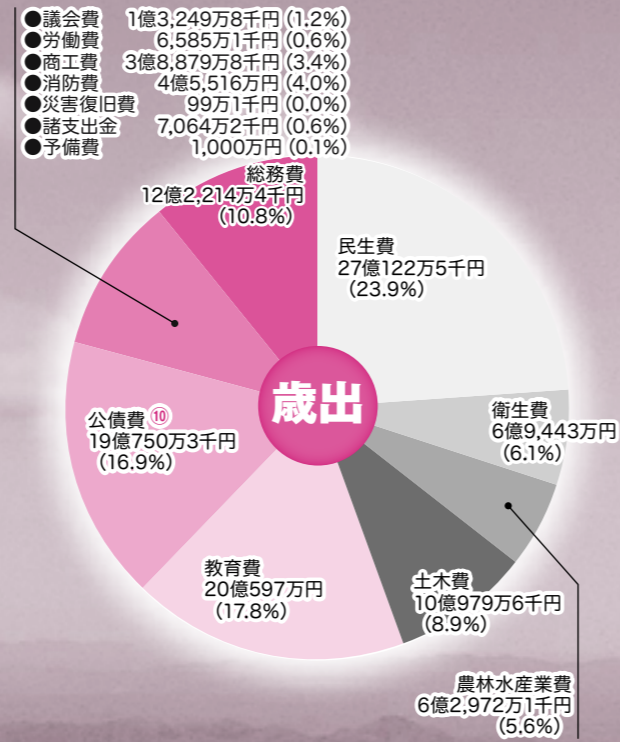
一般会計 112 億

予算名	平成 24 年度 (前年度比)
一般会計	112億9,472万9千円 (1.4%)
国民健康保険特別会計	26億7,068万7千円 (▲0.4%)
簡易水道事業特別会計	4億1,725万7千円 (15.3%)
下水道事業特別会計	1億8,437万2千円 (4.7%)
農業集落排水事業特別会計	2億794万円 (13.1%)
後期高齢者医療特別会計	1億8,848万7千円 (9.0%)
計	149億6,347万2千円

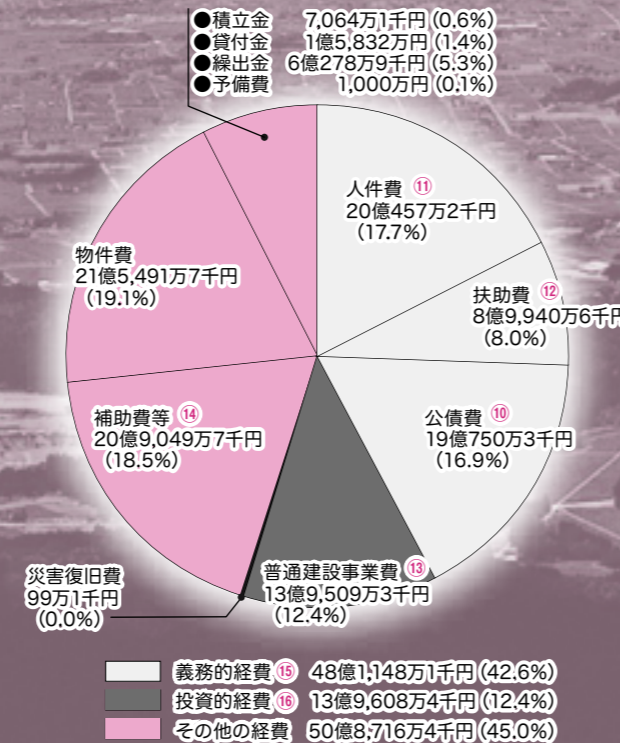
用語解説

- 町税**: 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など。
- 分担金及び負担金**: 町が特定の事業を行う場合に、その経費に充てるため、特別に関係のある人から経費の全部または一部を徴収したお金のこと。
- 使用料及び手数料**: 町の施設の使用料や、証明書等発行の際の手数料など。
- 繰入金**: 基金や特別会計から一般会計に繰り入れられるお金のこと。
- 町債**: 町が資金調達のために行う長期借入(借金)のこと。
- 地方交付税**: 自治体ごとの税収の差をならし、どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分するお金のこと。
- 国庫・県支出金**: 特定の事業をするために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金のこと。
- 自主財源**: 町税や使用料・手数料など、町が独自に調達するお金のこと。
- 依存財源**: 地方交付税や国庫・県支出金など、国や県から入ってくるお金のこと。
- 公債費**: 地方債の元金と利子などの返済に充てる経費のこと。
- 人件費**: 職員の給与、議員や委員の報酬などの経費のこと。
- 扶助費**: 高齢者や児童、障がい者などを援助するための経費。
- 普通建設事業費**: 道路や橋梁、学校、公共施設などの建設に要する経費のこと。
- 補助費等**: 一部事務組合や各種団体などへ負担金、補助金として支払う経費のこと。
- 義務的経費**: 法令や、その性質により支出が義務付けられている経費のこと。全体に占める割合が高いほど財政の硬直化を示す。
- 投資的経費**: 支出の効果が社会資本の形成に向けられる経費のこと。全体に占める割合が高いほど歳出の自由度が高いといえる。

一般会計歳出



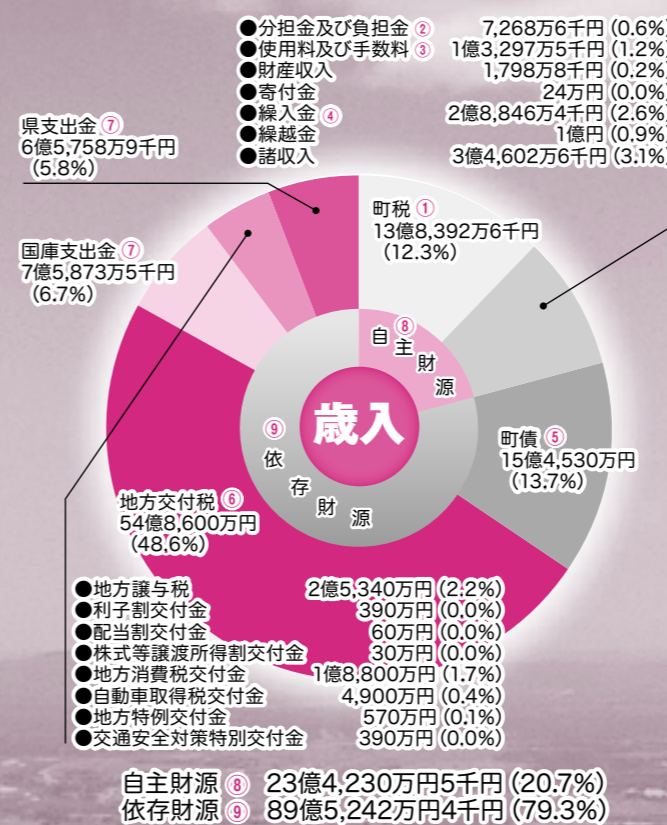
一般会計歳出 (性質別)



展開に全力を傾注

9,472 万円

一般会計歳入



平成 24 年度予算は、後期基本計画のまちづくり戦略プロジェクトを中心とし総合的な施策展開に全力を傾注した予算ですが、財政の健全化とプライマリバランスを考慮して後年度負担の軽減にも配慮しています。

一般会計の予算規模は 112 億 9,472 万 9 千円で、前年度当初比では 1.4% の増です。

歳入では、町税などの自主財源が 20.7%、地方交付税

や町債などの依存財源が 79.3% となりました。主な内容として、**町税**は、税制改正や固定資産の評価替えを見込んで前年度比 1% 増となりました。**地方交付税**は、国の財政計画では 0.5% 増ですが、学校数減など町の個別事情を勘案して普通交付税を前年度確定額の 1% 減と推計し、不測の財政需要や国の制度改正などにも対応できるよう一定な留保にも配慮しています。

国庫・県支出金は、防災行政無線整備事業や統合中学校校舎整備事業などが終了し前年度比 9.4% 減となりました。**繰入金**は、財政調整基金からの繰り入れを最小限にとどめ、後年度負担に備えております。**町債**は、公債費負担適正化計画を踏まえて後年度負担に配慮し、交付税算入される有利な起債を活用しました。

比 1.9% の減となりました。これは、議員共済会自治体負担金の減額や子ども手当で制度の改正を見込み、地方債の元利償還金の減少などによりです。**投資的経費**(普通建設事業費・災害復旧事業費)は、前年度比 2.9% の増額です。これは、今年度より統合小学校整備事業や認定子ども園整備事業に着手することなどによりです。

主要事業を『まちづくり戦略』

プロジェクトで実施

平成24年度、5つの『まちづくり戦略プロジェクト』で実施する事業の主な内容をご紹介します。



ラベンダー園



クッキング教室



水環境学習



防災訓練



ジャズコンサート

『農商工連携プロジェクト』

特色ある地域産品の充実
地域内消費の促進

地元購買率の向上と地域内消費の拡大を目指すために「地産地消応援の店」が互いに連帯し活動するための組織の設立（NEW）などをおこないます。

- ▼地産地消推進事業 74万5千円
- ▼地産地消推進事業 30万円

地域外販売の促進
「地産外商」の新たな概念による町外への売り込みの拡大を目指すために、東京都大田区で開催

- ▼地域特産開発事業（特産品） 145万4千円
- ▼地域特産開発事業（農産品）（秋田県立大学連携事業） 20万円

『子ども育成プロジェクト』

確かな学力を身につけた子どもの育成

- ▼基礎的・基本的な知識や技能を修得し、問題を解決できる能力を身につけた子どもたちを育むために、全国学力学習状況調査の実施などをおこないます。
- ▼学力定着度調査事業 57万2千円

個性と創造力をもつ子どもの育成

- ▼ブックスタート事業 46万6千円
- ▼自らの将来を展望し「たくましく生きる力」を身につけた子どもたちを育むために、第一線で活躍している方々との交流などをおこないます。
- ▼学校交流事業 126万2千円

青少年教育事業 20万6千円

子どもの心と体の健全な育成

- ▼基本的な生活習慣を身につけ、豊かな心をもつ子どもたちを育むために「レッツ！チャレンジ健やかクッキング教室」の開催などをおこないます。
- ▼子どもの健康づくり・食育推進事業 45万7千円
- ▼少年スポーツ振興事業 378万9千円

『水環境保全プロジェクト』

水資源の保全と保護

- ▼町・町民・事業者が連携した「水を守る」取り組みを推進し、快適な生活と潤いのある景観を目指すために、水辺清掃ボランティア活動などをおこないます。
- ▼水環境保全事業 174万9千円
- ▼湧水群水質検査事業 18万9千円

水とのふれあいの場の提供

- ▼水環境学習モデル事業 ゼロ予算事業
- ▼水関連イベントの開催を通じ「森と水を大切に

『交流促進プロジェクト』

水環境学習機会の創出と提供

町の財産であり大切な資源でもある「水環境」を学び、水を大切にする意識を喚起するために、水環境マイスターの養成などをおこないます。

- ▼水環境学習事業（秋田大学連携事業） 28万5千円

学習交流の推進

首都圏児童との交流を介して美郷児童の豊かな人間性を育み、農村交流での仲間づくりのために大田区子どもガーデンパーティーへの参加や、港区御田小学校と千屋小学校の双方向交流などをおこないます。

- ▼大田区子どもガーデンパーティー交流事業 41万9千円

『安全・安心プロジェクト』

暮らしの安全・安心

- ▼町民の生命と財産を、災害・事故や犯罪などの被害から守るための体制づくり、災害時安否確認電話の指定避難場所設置（NEW）などをおこないます。
- ▼防災対策事業 255万5千円
- ▼防災備蓄事業 63万2千円

子どもの安全・安心

- ▼子どもが安心して成長できる環境整備に努め、保護者も安心して子育てと仕事の両立ができる環境を目指して、不審者情報などを速やかに保護者の携帯電話に伝える「安全・安心メールシステム」
- ▼緊急自動車不通解消・歩道整備事業 6840万円
- ▼社会体育施設耐震診断事業 577万5千円

社会資本の安全・安心

- ▼日常生活は無論のこと災害や緊急時でも安全に誘導・非難できるように、緊急車両の通行が困難な狭路の改良や、中央体育館と南体育館の耐震診断（NEW）などをおこないます。

子育て世代の定住に 最高額100万円

を助成

3月9日、平成24年度一般・特別会計予算の全体質疑をおこないました。その主な内容を要約しお伝えします。

一般会計

歳入

農業所得の見込みは

円増とし、所得から必要経費を引いた課税対象額を2億5000万円ほどの増と見込んだ。

新商品を検討したい

飛澤議員 平成23年度は、国の補助金や米価の上昇などで農業所得が増えた。24年度の町民税では農業所得をどう見込んだか。
税務課長 米価や一等米比率の持ち直しなどを勘案して水稲販売額を8億

歳出

では292万円見込んでいたが、利用者が1600人減となり実績額を計上した。増収策として、コース維持管理の徹底とプラスアルファ商品を検討したい。

助成要件の内容は

深澤(均)議員 定住促進奨励事業では一定の要件を満たす住宅取得に助成するが、その要件内容を聞く。

副町長 子育て世代の定住を意識し、①夫婦のいずれかが40歳未満②40歳以上であっても小学校就学前のお子さんを扶養している父母③小学校就学後から19歳未満のお子さんを扶養している父母が対象で、町内業者から家屋を取得した場合に限る。奨励内容は、町外からの転入者と町内在住者を分



田植え風景

が15戸、70万円補助する2ha以上の農家が7戸と推定している。町の155集落すべてが対象となり地域全体で話しあって2カ年で策定する内容だ。

後継者の位置づけが前提だ

深沢(義)議員 青年就農給付金は45才以下の方に150万円、13人予定しているが、内容を聞く。
農政課長 補助要件に人・農地プランの地域作成があり、地域での後継者としての位置づけが前提だ。また、平成20年に遡って5カ年にわたり給付するが、現在、営農大

積算根拠は

深沢(均)議員 農地集積協力金1510万円の積算根拠と、関連する人・農地プラン作成事業の内容を聞く。
農政課長 30万円補助する0.5ha以下が9戸、50万円補助する2ha以下

国民健康保険 特別会計

今後の見込みは

泉(美)議員 重税感が伴うのが国保税であり、あらゆる財源を活用し軽減を望む立場で今後の見込みを聞く。

福祉保健課長 当初予算は、直近の実績や年度途中までの実績などを勘案し推計した。また、23年度は本町に限らず全国的に医療費が伸びている。

しかし、今後の保険給付費や被保険者数の推移、また国保加入者の所得状況や保険料の収納状況も確定できないので、6月の賦課までにどのような対応ができるのかを検討したい。

「後三年鴻声の郷」に委託する

泉(美)議員 障害者虐待防止センターの設置場所と、配置する訪問相談員の資格などを聞く。
福祉保健課長 庁舎内に設置し、福祉保健課の福祉班が業務をおこなう。また、実際の相談業務や家庭訪問は『後三年鴻声の郷』に委託する。

雇用対策の内容は

泉(美)議員 雇用対策として38人を雇用し11事業を実施するが、それぞれの内容を聞く。

副町長 交通安全施設設置図作成事業が3カ月で1人、温水プール運営事業が通年で4人、社会教育施設物品整理事業が半年で3人、学校図書整理事業が通年で4人、不登校児童支援事業が10カ月で1人、歩行者の安全・

ラベンダー園にて

安心事業が半年で3人、観光施設の点検・調査事業が4カ月で2人、町有林関係が半年で8人、遊休地の境界確認事業が半年で1人、学校物品の適正配置事業が半年で5人、まちづくりアンケート調査事業が3カ月で1人の雇用だ。

町全体でPRを

中村(利)議員 平泉と後三年の合戦関連もあつて後三年駅に観光案内所や大型案内看板を設置するが、町の南玄関となる道の駅も活用し町全体に拡げるべきだ。

公表はホームページで

泉(美)議員 学校給食食材を放射能汚染測定するが、具体的な実施方法と公表の方法を聞く。
教育施設課長 市町村毎に月2回ほどの割り当てがあり、仙北地域振興局に食材を持参して測定する。公表は、町のホームページでおこないたい。



道の駅雁の里せんなん

メールシステム開始

3月12日教育民生常任委員会を開催し、本会議で付託された平成24年度一般会計予算と、国民健康保険・後期高齢者医療特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。



委員会審査風景

総務常任委員会

町税、前年度当初比

1%増を見込む

3月13日総務常任委員会を開催し、本会議で付託された平成24年度一般会計予算を審査しました。その結果、賛成多数（賛成4人・反対1人）で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

歳入

吉野委員 固定資産税は、評価替えの年で減少すると見込んでいるが、いくらぐらいか。また、町税全体でいくらの増減か。
税務課長 評価額は宅地で平均4・2%減少だ。家屋は26億9600万円減の予想だ。しかし、町税全体では1%増と見込んだ。

町民税の内容は

泉(美)委員 町民税が前年度を上回った。詳しい内容は。
税務課長 農業所得は、米価の上昇や補助金の増加などで約2億5000万円増とした。給与所得は、ヨーロッパ経済危機と円高の影響で約7億9700万円減と見込んだ。また、年少扶養控除の廃止などによる増加額は4298万円と予想している。

地方交付税の見込み

高橋委員 地方交付税は前年度比1%減だが、総額はどれくらいか。また、合併特例期間はもう3年ほどだが、交付税が一本算定となった時にどれくらいになるか。
企画財政課長 59億円と見込んでいる。一本算定では、11億円ほど減るとみている。

補助金減額の理由は

吉野委員 国庫補助金が減額にもかかわらず、投資的経費が多くなっているのはなぜか。
企画財政課長 補助対象事業が少なく、起債を充当した。

歳出

官学連携の取り組み

吉野委員 現在、町は秋田大学と官学連携をしているが、将来的な産学官連携の見通し

専門職の採用を

泉(美)委員 職員採用は、専門職を増やしていくべきだ。
総務課長 24年度は保育士と社会福祉士を採用しているが、今後必要とされる専門職について、長期的に計画をたてていきたい。

定住数は

高橋委員 定住促進奨励事業は、定住数何人と見込んでいるか。
副町長 町外からの転入者を5人、町内は40人くらいを見込んでいる。

一般会計

深沢(義)委員 安全安心メールシステムの開始時期と配信想定は。
教育次長兼教育総務課長 今年4月からの開始で緊急時対応のみとして、園長、校長の判断において配信する。

どの医院でも使えるか

深澤(均)委員 はり・きゅう・マッサージ助成は、保険適用の有無にかかわらずどの施設医院でも使えるか。
福祉保健課長 どの医院でも使える。

補助対象は

伊藤委員 自主防災組織活動費補助金は、どのような活動をした場合に対象となるか。
住民生活課長 連絡網の整備



安全確認が大切

食糧備蓄計画は

深沢(義)委員 町の食糧備蓄に対する計画は。
住民生活課長 600人分を想定し、町内3カ所に備蓄する考えだ。

アドバイザーの役割

熊谷(隆)委員 教育アドバイザーの役割と人数は。
教育次長兼教育総務課長 授業・学習生活支援に1人と、不登校対応などさまざまな悩みへの対応に1人だ。

対象者と事故の有無

澁谷委員 学校行事協力者見舞金補償保険の対象者と事故の有無は。
教育次長兼教育総務課長 授業もしくは総合学習の際に協力していただいた方が対象で、

国民健康保険特別会計

購入台数と配備台数は
熊谷(隆)委員 スクールバスの新たな購入台数と配備される台数は。
教育施設課長 新たに6台を購入し、14台の配備となる予定だ。

出生数は

熊谷(隆)委員 出産育児一時金が昨年より210万円減額されているが23年度の状況と24年度の想定数は。
福祉保健課長 23年度・22件の想定に対して、3月12日現在10件の申請がある。24年度は、出生数が下がる中で、期待値を含め17件とした。

青年就農に補助

3月14日産業建設常任委員会を開催し、本会議で付託された平成24年度一般会計予算と、簡易水道・下水道・農業集落排水事業特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとしました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

一般会計

飛澤委員 青年就農給付金13人の地区別内訳は。

農政課長 千畑地区8人、六郷地区4人、仙南地区1人の予定だ。

地産外商をどう進める

中村(美)委員 地産地消・地産外商の委員会の構成と人数は。

副町長 町内で様々な取り組みをおこなっている方々をメンバーに考えている。人数は17人を予定している。

相乗効果を発揮したい

飛澤委員 後三年の駅に観光

案内所や看板を設置するが、そのねらいは。

副町長 平泉は世界遺産登録となったが、後三年の合戦があつたのが金沢地区であり、横手市と町が連携し相乗効果を発揮したい。

住民要望はどう活かされるか

中村(美)委員 道路整備では、住民からの要望がどう活かされているか。

建設課長 現地調査し、必要

除雪機械の更新基準

性が確認できた場合に整備する方向で進めている。

除雪機械の更新基準

飛澤委員 除雪機械の更新基準は。

建設課長 国の基準により耐用年数10年以上、稼働が2000時間以上のどちらかだ。

簡易水道特別会計

水道事業の今後の計画は

武藤委員 長面地区への給水実施にむけた現在状況と今後の計画は。

建設課長 先月、給水量・水

下水道特別会計

質とも問題ないことが確認され、現在県と協議を進めている。

利子補給の内容は

飛澤委員 水洗便所改造資金融資斡旋利子補給金の内容は。
建設課長 5件分の計上で、利率4・14%、3年以内は利子の全額、3年以降は利子の1/2を助成する。



ハウスでの農作業

がん予防の取り組み状況

町では、早朝総合健診によるがん健診を実施しており、受診率を高めるため無料クーポン券の配布や国保加入者・後期高齢者医療保険加入者への人間ドック費用助成などに取り組んでいます。しかし対象者に対して受診率は総じて低い状況です。

調査意見

がん予防は、早期発見・早期治療が大切だ。新たな方策により受診率の向上に努められたい。

自主防災組織活動状況

自主防災組織は、町の116行政区のうち、105行政区で設立しています。組織活動費補助金は平成23年度では50組織が活用して、緊急連絡網の作成、消火訓練、炊き出し訓練、AED訓練などを実施しています。

調査意見

今後は地域住民が連携を深め、継続して自主的な活動ができるよう指導に力を入れていただきたい。

消防団と消防施設状況

1月1日現在の消防団員数は405名で、構成は20歳代14人(3%)、30歳代69人(17%)、40歳代100人(25%)、50歳代160人(40%)、60歳以上62人(15%)となっています。

分団は千畑地区5分団、六郷地区4分団、仙南地区5分団となっており、各分団に防災コミュニティセンター1棟、小型動力ポンプ2台、消防ポンプ積載車2台を配備し、車庫は11棟を設置しています。

調査意見

消防団員は、若年層が少ない課題はあるが、条例定数448人に対し90%の充足率であり、団員確保に努めている。今後は、退団した団員を消防経験者として地域ボランティアと連携させ、団員の後方支援の役割を持たせるような仕組みを作ることも検討課題としていただきたい。

所管事務調査【教育民生常任委員会】

がん予防に受診率向上を

教育民生常任委員会は、1月20日に委員会を開催し所管事務調査を実施しました。その概要と意見内容を要約し、お伝えします。



健診車



出初式にて

バス利用を呼びかけ

今定例会で可決された平成23年度一般会計補正予算の主な内容は、子ども手当の制度改正による減額や震災による土木費国庫補助の減額など。歳入・歳出それぞれに76万7千4百円を減額し、総額118億7527万4千円としました。



路線バス

熊谷(隆)議員 生活バス路線で県補助金が減額されているがその内容は、**総務課長** 千屋線は昨年度の乗車密度が1人未満になり県の補助対象外となった。町では現在バス利用を呼びかける。

申請状況は

森元議員 子ども手当の制度改正による申請手続きは順調か。
福祉保健課長 3月7日現在、未申請者は1世帯で、その意思は確認している。

有効に活用すべきだ

森元議員 雇用対策費が減額されている。有効に活用すべきだが、これまでの経緯を聞く。

総務課長 内容は町有林管理作業で、3回募集したが予定通り集まらなかった。

減額の内容は

森元議員 道路新設改良費の減額理由は、**建設課長** 主に震災の影響で、当初予定額より国からの補助金が17・2%減額したためだ。

避難所の実態は

深澤(均)議員 災害援助費求償金の内容と避難所開設の実態はどうだったのか。
総務課長 求償金は国の単価設定による額で、町トレーニングセンターに14日間、延べ129人が一時避難した。

2年間支援する

深澤(均)議員 農産品の新

今定例会で審議した、平成23年度補正予算や単行議案などの主要内容と質疑を要約しお伝えします。



まひるの恵

商品創出・販売拡大支援事業の内容と地産外商での取り組みは。
農政課長 「まひるの恵」と「酒粕シチュー」の2品目で、各2年間販売拡大支援する。

副町長 販売拡大には、担当課にこだわらない連携や取組みが必要だ。



酒粕シチュー

単行議案

陸上競技場の設置及び管理に関する条例の廃止

内容 美郷町陸上競技場を美郷中学校施設として使用するための条例廃止です。



陸上競技場

地販地消推進条例の一部改正

内容 地販地消の推進に加え「地産外商」を推進するための基本理念を明らかにする条例です。

吉野議員 町の産業発展のためには、観光との連携も明記するべきと考えるが。
副町長 観光と他産業との連

暴力団排除条例の制定

内容 暴力団の排除を推進し、町民生活の安全と平穏の確保及び社会経済の健全な発展に寄与するための条例です。

携の取り組みをすでに始めており、8月には結論を出す。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第一項の規定に基づく準則を定める条例の制定

内容 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための条例です。

吉野議員 現在、工業団地の緑地・環境地面積は規定内か。また、緩和のねらいはなにか。

副町長 現在は45%以上確保し規定内だ。

ねらいとしては、周辺に緑地が豊富で住宅が少ない地域なので、特例措置として45%から15%に緩和し企業用地の創出をすることだ。



23年度工業団地に進出した(株)トクヤマ

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全会一致で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	中村美智男	熊谷良夫	伊藤福章	武藤威	森元淑雄	中村利昭	吉野久	福田守	泉美和子	泉繁夫	杉澤隆一	澁谷俊二	深澤均	戸澤勉	熊谷隆一	飛澤龍右工門	深沢義一	高橋猛		
◎平成24年第2回議会定例会																				
議案第33号	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

第1回議会臨時会提出議案一覧 (1/23)

議案第 1号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 2号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第9号	〈全員賛成で原案可決〉

第2回議会定例会提出議案一覧 (3/5~15)

議案第 3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 4号	大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 5号	町道の認定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 6号	町道の廃止について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 7号	美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 8号	美郷町条件付採用職員等の分限に関する条例の制定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第 9号	美郷町暴力団排除条例の制定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第10号	美郷町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第11号	美郷町交通指導員条例等の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
同意第12号	美郷町税条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
同意第13号	美郷町雁の里山本公園設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第14号	美郷町公衆トイレ設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第15号	美郷町交流センター設置条例及び美郷町交流センター使用料徴収条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第16号	美郷町六郷温泉施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第17号	美郷町地販地消推進条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第18号	美郷町営住宅条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第19号	美郷町特定地区公園条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第20号	美郷町コミュニティ消防センター設置条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第21号	美郷町陸上競技場の設置及び管理に関する条例の廃止について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第22号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第23号	美郷町簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第24号	美郷町簡易水道事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第25号	美郷町下水道事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第26号	美郷町農業集落排水事業特別会計への繰入額について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第27号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第10号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第28号	平成23年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第29号	平成23年度美郷町簡易水道特別会計補正予算第6号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第30号	平成23年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第31号	平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第4号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第32号	平成23年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第33号	平成24年度美郷町一般会計予算	〈賛成14人：反対2人で原案可決〉
議案第34号	平成24年度美郷町国民健康保険特別会計予算	〈賛成14人：反対2人で原案可決〉
議案第35号	平成24年度美郷町簡易水道事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第36号	平成24年度美郷町下水道事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第37号	平成24年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算	〈全員賛成で原案可決〉
議案第38号	平成24年度美郷町後期高齢者医療特別会計予算	〈賛成14人：反対2人で原案可決〉
発議第 1号	原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第 2号	TPP（環太平洋経済連携協定）への参加中止を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第 3号	最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉

第3回議会臨時会提出議案一覧 (3/23)

議案第39号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第11号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第40号	平成24年度美郷町一般会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉

平成24年度一般会計予算

賛成討論

深沢（義）議員 本予算は、不測の財政需要や国の制度改正に対応できるように地方交付税の一定額を留保し、後年度負担に配慮して交付税算入される有利な起債を活用するなどの歳入編成だ。

また、歳出ではまちづくり戦略プロジェクトを事業の中心に据え、学校再編の円滑な推進や六郷幼稚園・保育園の具体整備など望ましい施設整備に努め、町勢発展を目指して地販地消に加えた地産外商の取り組みにより産業振興や観光・交流への新たな発展につながる予算であり賛成する。

平成24年度一般会計予算

反対討論

泉（美）議員 依然として厳しい経済状況のもと、町が新年度も経済の活性化策として住宅リフォーム事業を継続することや、子育て支援として子供の医療費無料化を拡大することを評価する。また、新たな定住促進奨励金交付制度は、子育て世代への支援策になるものであり若い世代の定住促進に期待する。

しかし、国の税制改革により、年少扶養控除の廃止や特定扶養控除の縮小で子育て世代には増税になる。国の施策とはいえ、これらが反映された予算なので反対する。

第3回臨時会

六郷幼稚園・保育園
建築工事前倒し

3月23日第3回臨時会を開催し、平成23年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれから5億2,490万6,800円としました。また、平成24年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれから5億1,240万3,112円としました。主な内容は、国の4次補正に伴い六郷幼稚園・保育園建築工事を1年早く前倒し実施するための年度間の組み換え予算補正で、原案を全会一致で可決しました。

第1回臨時会

除排雪費用
7,735万円追加

1月23日第1回臨時会を開催し、平成23年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに8億6,990万6,000円を追加し総額を1億5,203万8,000円としました。主な内容は、除排雪経費7,735万1,000円や六郷中学校の木伐採経費252万7,000円などで、原案を全会一致で可決しました。

一般質問



質問者

泉 美和子 議員

- ◇介護保険について・・・掲載
- ◇子どもの医療費無料化について・・・掲載
- ◇中学校の武道必修化について・・・掲載

負担軽減にどう対応する 町長「給付費の増加でやむを得ない」

議員 65歳以上の介護保険料が基準額で現行4580円より1300円値上げされた。5880円となる保険料は、制度発足当時の2.2倍となる。

生活必需品の値上げや年金の引き下げなどもあり、住民生活はさらにきびしくなる一方だ。この状況での介護保険料の値上げは、さらなる負担増となるもので、負担軽減を

求めてきたがどう対応したのか。
高騰し続ける介護保険料、膨らむ介護費用の現状で将来とも安心して必要な介護を受けられるため、介護保険制度



敬老会

と高齢者福祉のあり方について町長はどう考えるか。

町長 介護保険を構成する市の会議では、保険料水準を少しでも抑えられないか意見を述べているが、介護給付費の増加が著しくやむを得ないとの認識に至っている。

受益と負担のバランス、制度・事業間の役割分担を基本認識とし、希望する生活スタイルに近づける介護保険と高齢者福祉サービスのあり方に模索を続けるべきと考えている。

完全無料化を

議員 全国的には所得制限や自己負担なしで、中学生までの医療費無料化が進んでいる。県内でも、小坂町や三種町で中学生までの完全無料化が新年度予算に盛り込まれる。

町でも所得制限は廃止するが、限度額1000円の自己負担は残る。子育て支援策として、自己負担をなくし完全無料化を求める。
町長 小学生については所

得制限を撤廃し、それ以外は県の制度設計どおりの考え方で実施する予算を計上した。自己負担の無い完全無料化については考えていない。

安全確保が必要だ

議員 中学校では、4月から武道必修化となり、保護者や学校現場から不安の声があがっている。これは柔

道での重大な事故が続いていることによるものだ。
必修化のためには何より安全性の確保があげられ、また指導者研修も重要だ。
当町ではどの武道を選択するのか、安全確保の現状と対策を聞く。
教育長 美郷中学校での武道は諸条件を勘案して柔道を選択した。3中学校でも指導のノウハウを充分持ち合わせており、不安はないとの報告がある。

安全確保に、畳の上にソフTomattを敷いたり型を中心とした指導を心がける。技については、全員に取り組ませることなく生徒の技能の段階を配慮した指導をする。またこれまで研修を受けた先生が指導していたが、美郷中学校でもこのノウハウが引き継がれるよう指導していく。



泉(美) 議員



乳児健診

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◆原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章
- ◆TPP交渉参加に向けた協議の中止を求める請願〔全員賛成〕
農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門 紹介議員：武藤 威議員
- ◆最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書〔全員賛成〕
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章

不採択としました

- ◆「社会保障と税の一体改革による消費税増税は行わないこと」を国に求める陳情書
秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲
- ◆「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情書
秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

〔採択意見〕
武藤議員
消費税は不公平な税制だ。社会保障を消費税でまかなうのではなく、税制が優遇されている大企業が負担すべきなのでこの陳情は採択すべきだ。

〔総務常任委員長報告〕
福田委員長
社会保障の充実が国民が求めるもので、その財源のためには必要な措置だ。これ以上引き延ばして、将来大人となる子どもたちに負担を強いることはできないため不採択とする。

〔不採択14人：採択2人で不採択 採択賛成者：武藤議員、泉（美）議員〕

- ◆住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章
秋田県国家公務員労働組合共闘会議 議長 藤田 哲也

〔採択意見〕
武藤議員
国の出先機関改革は、公共サービスの低下につながる恐れがある。地方と国はこれまでどおり連携し、さらに充実した社会をつくるべきなのでこの陳情は採択すべきだ。

〔総務常任委員長報告〕
福田委員長
国の出先機関改革や、独立行政法人の事務・事業が見直されることによって地方分権が推進される。この陳情は、地方分権を後退させる内容なので不採択とする。

〔不採択14人：採択2人で不採択 採択賛成者：武藤議員、泉（美）議員〕

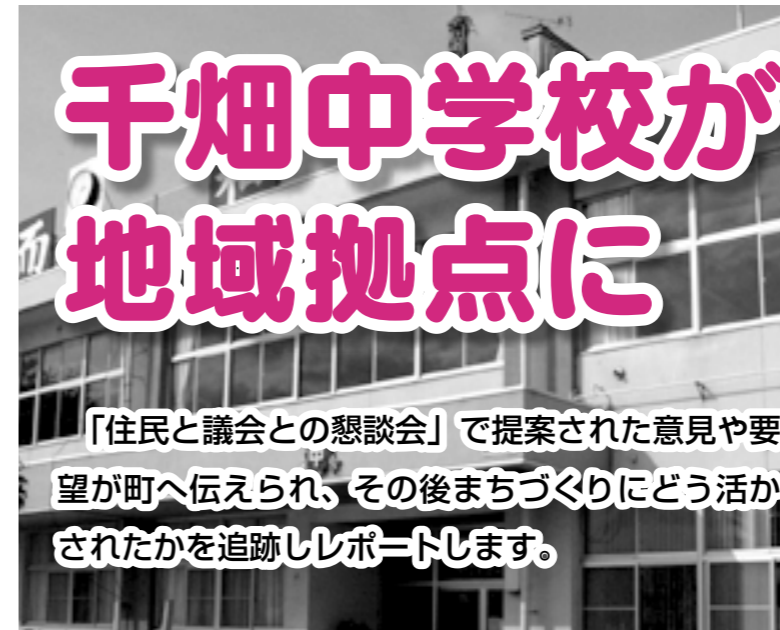
- ◆子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情書

日本自治体労働組合連合秋田県本部 中央執行委員長 星野 博之

〔採択意見〕
泉（美）議員
このシステムは保育の営利化・市場化を進めるもので、保育に格差が広がる懸念がある。すべての子どもに質の高い保育と支援を保障するためにはこの陳情を採択すべきだ。

〔教育民生 委員長報告〕
熊谷（良）委員長
国が、待機児童をなくすために保育所を増やすという子ども・子育て新システム構想に踏み切ったのは評価すべきであり、導入に反対するこの陳情は不採択とする。

〔不採択14人：採択2人で不採択 採択賛成者：武藤議員、泉（美）議員〕



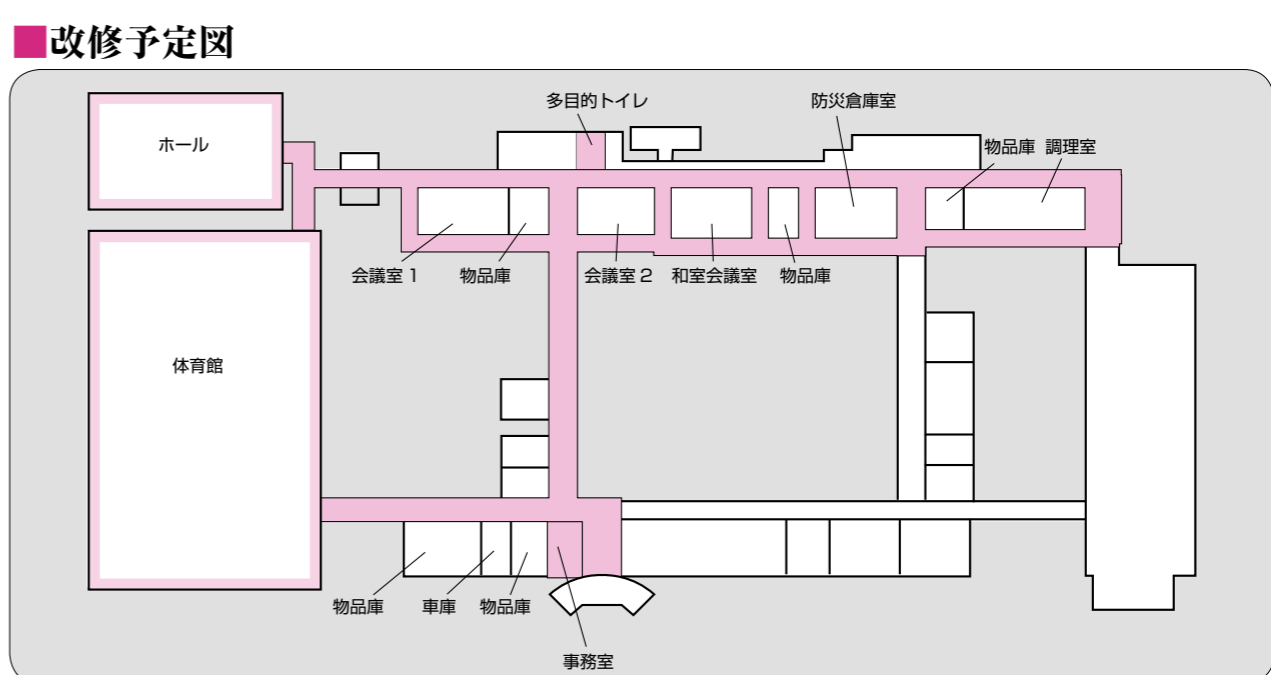
千畑中学校の活用計画

- ①生涯学習の地域拠点
- ②地域住民の寄り合い所機能
- ③防災品等の備蓄および避難場所

町では平成24・25年度に「公共施設再編計画」および「学校再編による空き施設等活用計画」に基づき、千畑中学校校舎に集会施設を設置（改修）します。

住民 千畑交流センターが、廃止されると会合や生涯学習ができない。近い所に替わりの施設がほしい。

平成23年開催の「住民と議会との懇談会」より



読者の声

毎回たくさんのクイズのご応募ありがとうございます。これまでご応募いただいた中から、議会や議会だよりに寄せられたご意見・ご感想の一部を掲載します。

議会だより発行を楽しみにしております。議員さんへ一言、選挙の時だけでなく、各集落へ来て話しなどしてみてください。

(60代 女性)

表紙の自然なかわい写真が素晴らしいです。町民の意見や考え方が届き、活気ある議会である事を期待しています。

(40代 女性)

広報は私の大切な情報源です。発行日を楽しみにしています。

(50代 女性)

町民の架け橋となっている議会広報は、町の将来に係わる重要な政策課題について項目ごとによりわかりやすく書かれてあり、とても読みやすいので最後までいっきに目をおしてしまいました。いろいろ課題について時代の変化に伴って新たな取り組みや見直し、改革、今後ともよろしくお祈りします。町の活性化をよろしく！

(60代 男性)

議会を傍聴する機会はなかなかありませんが、議会報を見ると町の様子がわかりためになります。

(30代 女性)

みさと議会だより 第30号 クイズ

★クイズ回答

【問1】新たに「議会○○○検討会」立ち上げる。

【回答】 **活性化**

【問2】安全・安心のまちづくりに「○○○条例」制定。

【回答】 **空き家**

◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。

加藤 陽子 様

坂本 勇 様

高橋 ミヨノ 様

人事

【人権擁護委員の推薦】委員の任期満了に伴い、次の方の推薦に同意しました。



澁谷あさ子氏(新任)
(百目木)

表彰

◎全国町村議会議長会
自治功労者表彰

戸澤 勉 議員

◎秋田県町村議会議長会
自治功労者表彰

高橋 猛 議員

熊谷 隆一 議員

森元 淑雄 議員

みさと議会だより 2度目の優秀賞

平成23年度 町村議会広報全国コンクール「優秀賞」

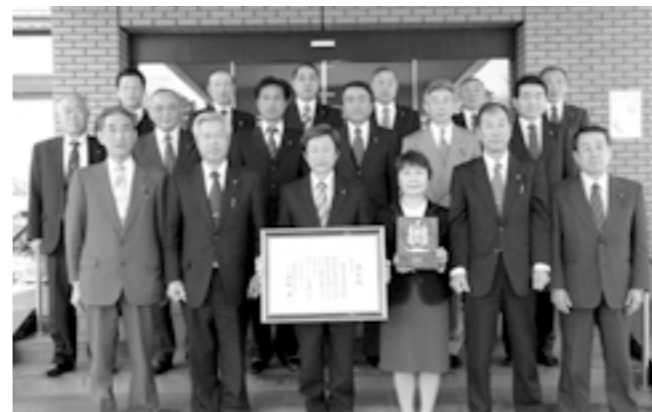


優秀賞を受賞した「みさと議会だより第27号」

第26回(平成23年度)町村議会広報全国コンクールにおいて「みさと議会だより第27号」が一昨年に続き二度目の優秀賞を受賞しました。

これもひとえに、写真撮影や「キラリ美郷人」「住民と議会との懇談会」など、町民の皆さんにご協力をいただいたおかげです。

これからも、これまで同様、町民の視点に立ったわかりやすく読みやすい広報紙づくりを目指してがんばります。



六郷中学校 ありがとう

シリーズ キラリ美郷人 vol.26



キラリ美郷人は、学校シリーズの最後として六郷中学校の活動を紹介します。

過日「六郷中学校、ありがとう」と深々と礼をして最後の卒業生が学舎を去った。たくさん思い出と母校六郷中学校の心が刻まれた卒業証書を手にして。
本校は昭和22年にスタートし、これまで校訓「協調・探究・根気」の下、数々の栄光と伝統を積み重ねてきた。
春、校舎の桜が新入生を温かく迎える。新緑の頃には、一時代郡市大会の会場となった陸上競技場



が目に映える。多くのアスリートを育み、本校男子八百Mリレー全国四位の活躍も生み出した。
夏、青春の汗と涙が感動を与えてくれる。三度の全県制覇を成し遂げた男子バスケットボール部を始め、男子卓球部やテニス部の東北大会出場や野球部などの全県出場も学校や地域を盛り上げた。
秋、生徒は六中祭で一段と輝く。いつの時代も地域の方の笑顔は生徒の生きる力の支えとなった。
冬、生徒は地域行事が伝える故郷の温もりを感じる。伝統的な六

中カマクラ行事は今日まで受け継がれ、心の豊かさを育んできた。それは、科学部や吹奏楽部などの全県・全国での活躍だけでなく、アルミ缶回収などのボランティア活動の充実にもつながった。
今年度、生徒と教職員は「感動最高ファイナルを」をテーマに数々の行事を展開し、地域の方々に感謝の心を届けてきた。そして、65年の歴史の幕を静かに下ろす母校のその時を見守っているところである。「六郷中学校、ありがとう」の心を添えて。
校長 大友 久志

? クイズ

問1 平成24年度一般会計予算は
〇〇〇億9472万円。

問2 地販地消推進条例に「〇〇〇〇」の基本理念を追加。

…〇に入る言葉や数字などをお答えください…

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成24年5月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、6月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

美郷町議会事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp
美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>

